

生産者の米穀在庫等調査（平成29年6月末見込み）

－ 販売農家1戸当たりの米の6月末在庫量は、319kgの見込み －

【調査結果】

平成29年6月末における販売農家1戸当たりの米の在庫量（精米を除く。）の見込みは、319kgとなった。

表 販売農家1戸当たり6月末在庫量（全国）

区 分	平成28年	平成29年	前年同月との比較	
	6月末（実績）	6月末（見込み）	対 差	増減率
	kg	kg	kg	%
全 国	299	319	20	6.7

注：1 在庫量は、精米を除いた数値である。

2 在庫量とは、農家が手持ちしている米穀の数量をいう。この数量には、JA等に保管を委託しているもの、販売予約済又は手付金受領済であって現品を当該調査対象農家（世帯）以外の者に引き渡していないものを含む。

3 昨年の同時期の6月末見込みの数値は、316kgであった。

◎ 調査結果の利活用

「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」の米穀の需給見通しの策定のための資料等に利用。

◎ 関連データ

水稻（主食用）の作付面積及び収穫量の動向（全国）

年 産	主食用作付面積	収穫量（主食用）
	ha	t
平成22年産	1,580,000	8,239,000
23	1,526,000	8,133,000
24	1,524,000	8,210,000
25	1,522,000	8,182,000
26	1,474,000	7,882,000
27	1,406,000	7,442,000
28	1,381,000	7,496,000

資料：農林水産省統計部『作物統計』

【統計表】

販売農家1戸当たり6月末在庫量（全国・都道府県別）

全 国 ・ 都道府県	販売農家1戸当たり6月末在庫量				(参考) 集計農家数 (平成29年6月末(見込み))
	平成28年 6月末(実績)	平成29年 6月末(見込み)	前年同月との比較		
			対差	増減率	
	kg	kg	kg	%	戸
全 国	299	319	20	6.7	2,538
北 海 道	627	681	54	8.6	188
青 森	318	319	1	0.3	81
岩 手	304	316	12	3.9	82
宮 城	370	341	△ 29	△ 7.8	106
秋 田	195	254	59	30.3	148
山 形	267	303	36	13.5	98
福 島	349	410	61	17.5	122
茨 城	289	331	42	14.5	115
栃 木	310	340	30	9.7	99
群 馬	403	425	22	5.5	29
埼 玉	266	393	127	47.7	53
千 葉	300	312	12	4.0	93
東 京	278	326	48	17.3	24
神 奈 川	268	333	65	24.3	16
新 潟	300	299	△ 1	△ 0.3	183
富 山	168	193	25	14.9	46
石 川	243	245	2	0.8	39
福 井	264	335	71	26.9	38
山 梨	198	292	94	47.5	17
長 野	280	297	17	6.1	50
岐 阜	335	275	△ 60	△ 17.9	37
静 岡	451	501	50	11.1	34
愛 知	352	386	34	9.7	47
三 重	295	248	△ 47	△ 15.9	48
滋 賀	241	317	76	31.5	53
京 都	384	368	△ 16	△ 4.2	28
大 阪	281	304	23	8.2	17
兵 庫	292	296	4	1.4	61
奈 良	193	288	95	49.2	15
和 歌 山	212	131	△ 81	△ 38.2	17
鳥 取	316	340	24	7.6	25
島 根	264	213	△ 51	△ 19.3	33
岡 山	347	280	△ 67	△ 19.3	55
広 島	359	396	37	10.3	41
山 口	279	336	57	20.4	37
徳 島	186	173	△ 13	△ 7.0	22
香 川	128	163	35	27.3	26
愛 媛	284	288	4	1.4	24
高 知	230	324	94	40.9	20
福 岡	301	283	△ 18	△ 6.0	52
佐 賀	377	357	△ 20	△ 5.3	25
長 崎	340	355	15	4.4	23
熊 本	347	397	50	14.4	57
大 分	292	299	7	2.4	37
宮 崎	215	248	33	15.3	28
鹿 児 島	280	295	15	5.4	30
沖 縄	109	128	19	17.4	19

注：在庫量は精米を除いた数値である。

【調査の概要】

1 調査の目的

生産者の米穀在庫等調査は、生産者の米穀の在庫量、供給量、消費量、販売量等の実態を把握し、米穀の需給及び価格の安定を図る観点からの食料行政の円滑な遂行等、各種行政施策の推進のための資料を整備することを目的とする。

2 調査の対象

本調査は、2015年農林業センサス結果に基づく農業経営体のうち、販売目的で水稻を10アール以上作付けた販売農家を対象に実施した。

3 調査対象農家の選定方法及び抽出方法

(1) 標本の大きさ及び標本配分

平成25年度から平成27年度までの本調査における全国の脱穀量を指標とした目標精度（標準誤差率）を0.5%として、必要な標本の大きさ（調査対象農家数）を算出し、その算出した調査対象農家数を水稻作付面積規模別の階層ごとに最適配分し、さらに都道府県別の階層の大きさに応じて比例配分した。

なお、都道府県ごとの標準誤差率が8%を超える場合には、8%になるまで調査対象農家数を追加した。

その結果、全国の調査対象農家数を2,548戸とした。

(2) 標本抽出

2015年農林業センサス結果で調査の対象に該当した販売農家を、都道府県別及び水稻作付面積規模別に区分し、水稻作付面積により昇順に配列したリストを作成し、その作成したリストを(1)で配分した当該階層の調査対象農家数で等分し、等分したそれぞれの区分から1戸ずつ無作為に抽出した。

4 集計農家数

2,538戸（調査対象農家のうち、調査票の回収ができた農家数）

5 調査事項

月初在庫量、供給量、消費量、販売量、月末在庫量等

6 調査期日

調査期日は、毎月末現在である。

なお、6月末見込み在庫量については、5月末現在で把握した6月末見込みの在庫量である。

7 調査方法

調査員が調査対象農家に対して調査票を配布・回収する自計調査の方法及び調査票を郵送により配布・回収する自計調査の方法により行った。

8 集計方法

集計は、都道府県別及び水稲作付面積規模別の集計対象区分ごとに、各調査項目について、1戸当たり平均値を次式により算出した。

< 1戸当たり平均値の算出方法 >

$$\bar{x} = \frac{\sum_{i=1}^n w_i x_i}{\sum_{i=1}^n w_i}$$

- \bar{x} : 当該集計対象区分における1戸当たり平均値の推定値
 x_i : 当該集計対象区分に属する*i*番目の集計農家の調査結果
 w_i : 当該集計対象区分に属する*i*番目の集計農家のウエイト
 n : 当該集計対象区分に属する集計農家数

ウエイトは、集計農家別に定めるものとし、それぞれ、水稲作付面積規模別、都道府県別に区分した階層ごとに、次式により算出した標本抽出率（階層の大きさに対する集計農家数の比率）の逆数とした。

$$\text{標本抽出率} = \frac{\text{当該階層から抽出した集計農家数}}{\text{2015年農林業センサス結果による当該階層の大きさ（販売農家数）}}$$

9 用語の解説

在庫量とは、農家が手持ちしている米穀（精米を除く。）の数量をいう。この数量には、JA等に保管を委託しているもの、販売予約済又は手付金受領済のものであって現品を当該調査対象農家（世帯）以外の者に引き渡していないものを含む。

10 利用上の注意

- (1) 表中に使用した記号は、次のとおりである。
「△」：負数又は減少したもの
- (2) 在庫量は、玄米換算した数値である。
- (3) この統計表に掲載された数値を他に転載する場合は、「生産者の米穀在庫等調査」（農林水産省）による旨を記載してください。

11 その他

この資料の数値は6月末在庫量の見込み数値であり、確定値については平成29年11月までに公表する予定である。

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果の分野別分類は「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類は「米（消費）」に分類しています。

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

経営・構造統計課 分析班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線3635

電話：(直通) 03-6744-2042

FAX： 03-5511-8772

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 広報普及班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線3589

電話：(直通) 03-6744-2037

FAX： 03-3501-9644



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<http://www.e-stat.go.jp/>